

かけはし

黄の3組
~ダイナミックワールド号~



Central Idea

素材にはそれぞれ特性があり
人はそれを活用する

「秋のダイナミックワールド」において、黄の3組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。

1学期から、ティッシュやお菓子の空き箱、牛乳パックや、容器などを組み合わせて工作をしたり、親子園外探究活動のお散歩バッグや運動会でのツバメダンスの演技で使ったりと、さまざまな身近な素材を遊びに取り入れてきた子どもたち。運動会後も、思い思いに自由工作をしていると…夏休みに「お祭り」や「花火大会」に行った経験からお祭りごっこが始まりました。「〇〇屋さんをしたい!」「〇〇さんがいいな」と、工作コーナーから素材を探してきては、どんな素材を使ったらいいかと、試行錯誤しながらつくて…子どもたちのアイデアいっぱいのお祭りごっこが盛り上がっています。

★ 身近な素材を使って たこ焼き屋さん・フランクフルト・チョコバナナ屋さん ★

「お祭り」を経験した子どもたちから始まった遊び



茶色のペンでソース♪
緑と赤の折り紙でのり
としょうがにしよう!

「たこ焼き屋さん!」と、紙を丸め、卵の容器に並べて…再生紙をたこ焼きに見たてて作り始めた子どもたち。



トッピングもして、おいし
しろう!

こちらは、割りばしに新聞を巻いて…「チョコバナナ」づくり。本物のバナナのようなカーブも再現しています。



ケチャップやマ
スタードはつけ
ますか?

焼きたてです!

新聞紙に、トイレットペーパーの芯を重ね、フランクフルトも出来上がり!「ケチャップやマスタードもあったらいいな」と、モールをクネクネさせて作りしました。

★ 身近な素材を使って ヨーヨー釣り・アイスクリーム屋さん ★

工作コーナーでガチャガチャのカプセルを見つけたことから生まれた遊び



工作コーナーからガチャガチャのカプセルを発見して、ある子がお祭りのヨーヨーにできそうと…。ゴムをつけて…ヨーヨーづくりが始まりました。



開店準備が整って、ヨーヨー釣りは、人気の遊びに。すると、ヨーヨーが足りなくなり…。どうしたら、お客さんが楽しめるか…と思案中です。



何味にしますか?

メニューを描こう

「(カプセルが)アイスにもなる!」と、包装紙や折り紙を巻き、ビーズやボタンでトッピング。アイスクリーム屋さんも始まりました。

★ 身近な素材を使って ペロペロバー (食べ物リユースするための返却口)・お皿リサイクルコーナー ★

「たのしくエコ」の講演がきっかけとなり生まれたコーナー



ペロペロバー、おなかいっぱい
になってよかったね

遊びに使っているうちに破れた段ボール箱が、「お化けに見える!」と目をつけて再利用。ペロペロバーと名づけて玉入れのようにして遊んでいました。



玉入れ遊びの熱が冷めたころ『たのしくエコ』の講演で食品ロスの話を聞いた子どもたち。「食べ残した物をペロペロバーにあげよう」と食べ物に戻すところに変身。

お皿はリサイクルコーナーへ



戻す食べ物をのせるお皿が必要だと、スチロール皿を用意することに。「リサイクルしようよ」と、リサイクルマークを描いた箱も用意されています。

★ 身近な素材を使って ツバメの巣づくり (輪投げゲーム) ★

新聞紙で遊んでいたことから始まった遊び



ねらって…エイ!

新聞紙や再生紙で食べ物をつくっていた際、ある子が紙1枚を輪にしました。「お祭りのゲームにできそう」と、輪投げ遊びが始まりました。



丈夫にしよう

遊んでみると、「(紙1枚でつくった輪は)くねくねして投げにくい…」という声。新聞を何枚か重ねたり、ビニールテープを巻いたりして改良中です。

紙は重ねると強くなるね



巣をつくるお手伝いをしよう!

輪投げが楽しくなるように、大きなツバメをつくってそれを的に輪投げをすることに。すると、「ツバメに輪が当たらないようにしようよ」「たくさんの輪が的に集まったら巣ができるようにしよう」ということで現在の遊び方に。

★ 身近な素材を使って ツバメのエサやりゲーム ★

紙コップでツバメをつくったことがきっかけで始まった遊び



紙をねじって巣の材料にしよう

いろいろな遊びに使うために大きな段ボールをいくつか保育室に持ってきておくと、子どもたちは自分たちが実際に入り丈夫かどうか確かめる姿が…。



かわいい!ヒナができたよ

「(この段ボールを)かわいくしたい」という声があがり、ツバメのヒナをつくりはじめた子どもたち。ヒナ用の小さな巣も完成。

巣の中に餌を入れてあげるね!



遊んでいるうちに、ヒナの巣のなかにツバメが食べる虫をあげるというゲームに変化しました。日々遊び方を変えて、楽しんでいます。